

# 就任のご挨拶

## 翠会精神医学研究所長に就任して



翠会精神医学研究所

所長

にしやま まさのり  
西山 正徳

私がまだ若く厚生省公衆衛生局精神衛生課に所属していたころ、成増厚生病院に社会精神医学研究所があり、民間病院でも研究活動をしているんだな、と感服した記憶があります。そこには、当時慈恵医大精神科教授だった新福先生が所長で活躍されていました。今回、新貝憲利理事長が、20年10月1日に新しく「精神医学研究所」を設立したのも、前身である社会精神医学研究所の遺産を受け継ごうとした翠会の研究魂の賜物であると感じています。

さて、初代所長の守屋先生とは、私が副所長時代からご指導を頂いており、一緒に翠会精神医学研究費の審査や倫理委員会の立ち上げ・運営をしてきたところでもあります。経営の苦しい中でも、理事長の御英断により1,000万円近い予算を翠会精神医療の発展のために割り当てたことは、我が国の精神科病院の中にあって特筆すべきことだと思われれます。特に、翠会で実施可能な研究、あるいはやらなければならない研究は「臨床研究」ではないでしょうか？ 研究は基礎研究と応用研究に分けられますが、基礎研究は分子生物学やら遺伝子研究で、膨大な研究予算が必要、従って国の仕事であろうと考えます。

21年度から開始された当該研究費には多くの職員から申請がありました。喜ばしいことでもあります。倫理委員会も開催し、また、所長、副所長（3名）による事前審査、配分額調整も行い無事スタートしています。統合失調症やうつ病、認知症、アルコール依存症など研究テーマは広範で、かつ研究申請者も医師だけでなく、看護師、CW、臨床心理士、作業療法士等多くの職種のかたが参加しています。また、22年からも新たに研究するグループも誕生しました。こうした動きそのものが医療の質の向上に大きく寄与することであろうと考えます。来る6月11日は第一回の研究発表会が開催されます。金曜日の午後、看護学校で九州地区を含めて開催される研究発表会に一陽会等も含め多くの職員の参加を期待いたします。